

## ごあいさつ



平素より農協事業全般につきまして、格別のご理解とご利用を賜り衷心より厚くお礼申し上げます。

この「ディスクロージャー誌」は、皆様が安心して当農協をご利用いただけますよう業務内容をまとめた情報開示誌です。是非ご一読いただき、当農協への関心とご理解を深めていただければ幸いです。

さて、令和3年度における主な事業内容ですが、春先の凍霜害や一部地域での降雹被害、さらには夏場の干ばつなどにより、りんごは小玉傾向から233万6千箱の入庫にとどまり、計画対比71.9%と計画を大きく下回りました。また、米については出穂開花期の水不足、8月下旬からの急激な低温遭遇等による減収が心配されましたが、申出数量対比99.0%の94,397俵の集荷実績となりました。園芸作物では新規出荷者獲得運動の展開によりピーマンを中心に前年を上回る2,439tの出荷数量となりました。また販売面では、他県産も凍霜害や雹害の影響により流通量が少なかったこと、為替の円安基調から輸入果物が少なかったことなどから、りんごでは早生種から堅調な価格で推移し、中晩生種の販売まで継続されています。一方、米では新型コロナウイルス感染症による需給環境の悪化から、前年産と比べ概算単価は大幅な下落となりました。園芸作物については、特産果樹は総じて高値基調で推移したものの、野菜類の一部品目での単価安の影響もあり、計画対比97.0%の10億4,700万円でしたが、2年連続で10億円の大台を超えることができました。

この結果、令和3年度決算は事業総利益が32億3千万円、当期剰余金は約2億4千700万円となり、何れも計画を上回ることができました。これもひとえに、組合員の皆様や地域の皆様のご理解とご利用の賜物であると重ねてお礼申し上げます。

結びに、令和4年産の農業生産活動は既に始まっておりますが、りんごの開花も平年に比べ一週間程度早まり順調な生育で推移していますので、この後も大きな気象災害や農作業事故も無く収穫の秋、良い出来秋を皆様とともに迎えられることをご祈念申し上げごあいさつといたします。

つがる弘前農業協同組合  
代表理事組合長

天内 正博

## 経営理念

地域農業を守り<sup>はぐく</sup>み、地域と農業のかけはしとなり  
地域社会のゆたかな<sup>あした</sup>未来へ貢献します。

「<sup>ひら</sup>拓き」「<sup>あした</sup>はぐくみ」地域の<sup>あした</sup>未来へ・・・

## 経営方針

1. 「一人は万人のために万人は一人のために」の協同組合精神に徹し、地域農業を守り発展させるため、地域社会に信頼される農業協同組合を目指します。
2. 農業を通じた社会貢献により、地域に親しまれ愛される農業協同組合を目指します。
3. 地域と農業のよりよい「共生環境」を創造し、地域社会の豊かな<sup>あした</sup>未来へむけ地域に協調した事業運営を目指します。
4. 役職員が一体となった事業運動を展開し、組合員に還元できる経営を目指します。

## 経営管理体制

当JAは農業者により組織された協同組合であり、正組合員の代表者で構成される「総代会」の決定事項を踏まえ、総代会において選出された理事により構成される「理事会」が業務執行を行っています。また、総代会で選任された監事が理事会の決定や理事の業務執行全般の監査を行っています。

また、信用事業については専任担当の理事を置くとともに、農業協同組合法第30条に規定する常勤監事及び員外監事を設置し、ガバナンスの強化を図っています。

## 事業の概況（2021年度）

### 〔全般的概況〕

世界経済は、コロナ危機による落ち込みからワクチン接種の進展に伴い、経済活動の正常化が進み全体的に回復基調で推移しましたが、昨年11月頃から感染力の強いオミクロン変異株が世界的に急拡大し、経済の回復ペースは再び鈍化傾向となっています。しかし、各国では重症化リスクの低さを背景に防疫措置を緩和し、経済活動の回復を図る動きが広まっています。また、世界的に物価の高騰が進むなかで、ロシアによるウクライナ軍事侵攻がはじまり、各国は金融引き締めや減税等の対策を講じているものの、高騰に歯止めがかからない状況が続いています。

日本経済においては、長引く緊急事態宣言等に伴う行動制限や自粛による社会経済活動の抑制から、一時的に持ち直しの動きがみられたものの、年明け以降、新規感染者数の急増により外出関連消費は再び低迷し、ワクチン追加接種の促進や医療提供体制の強化などコロナとの共生の取り組みは進んでいますが、先の見えない状況は続いています。

一方農業情勢では、日本各地で大雨や夏場の干ばつなどにより多くの農作物が被害を受けました。管内においても天候被害が確認され、りんごは春先の凍霜害や夏場の干ばつの影響により小玉傾向となったことから、最終入庫数量は計画を大きく下回る233万6千箱となりました。販売については、例年より糖度が高く食味が良好であったことや、果実全般の数量が少なかったことなどから順調に推移しました。また、米については平年より降水量が少なく、出穂・開花期には水不足の影響から開花・受精の低下が散見されたものの、計画に近い94,397俵の集荷数量となりました。しかし、需給環境の悪化から概算金単価は大幅な下落となり、当組合では支援措置として概算金の追加払いや、米出荷者支援対策助成金の支出を行いました。

このような情勢のなか、事業収支では、りんごの入庫数量減少に伴い収益の減少が見込まれましたが、収益計上を判断する会計基準が令和3年度決算から大きく変更されたことや、コロナ禍に伴う事業管理費の圧縮等により、当期剰余金は計画に対し1億円上回る、2億4千700万円を計上することができました。

# 事業の概況（2021年度）

## ① 信用事業

### 【貯金】

金融業界の預貯金は低金利で推移していますが、当座性貯金は、農産物の収量が減少したものの販売単価が好調に推移したことで、販売代金等による貯金振込額が増加し、計画を達成しました。

定期性貯金は、当JA独自商品として、懸賞金付き定期貯金「運だめし」と第8回特産品付き定期貯金「さと味ちゃん」を販売し、「さと味ちゃん」については商品の見直しを図りながらも前年度以上の実績となりました。

この結果、事業量では計画対比102.5%、前年対比102.7%の実績となりました。

### 【貸出金】

今年度は、天候不順（降雹・降霜・少雨・低温）の影響による農作物の減収に伴い、農業経営支援策として4つの農業災害資金を発動し、77,690千円（60件）の融資を行いました。

各種ローンおよび農業融資については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、住宅および農機具業者への定期的な営業活動が制限されたものの、住宅ローンについては計画を大幅に上回る1,318,090千円（計画対比155.1%、前年対比196.2%）の実績となりました。

また、ローンのプレゼントキャンペーンを展開しさらなる実績獲得を目指しましたが、事業量では計画対比97.2%、前年対比97.4%の実績となりました。

## ② 共済事業

長期共済では、仕組み改訂された医療共済「メディフル」をはじめ、生命総合共済が好調に推移した結果、計画を達成することができました。

短期共済においては、「自動車共済お見積りキャンペーン」による新規契約獲得と、「自動車共済グレードアップキャンペーン」による充実保障の提案を中心に事業を展開しましたが、計画を下回る実績となりました。

長期・短期を合算した推進総合実績では、計画対比99.0%、前年対比98.3%の実績となりました。

## ③ 購買事業

### 【生産資材】

予約キャンペーンによる利用者の拡大とコスト軽減、省力化資材の取扱いを行いました。原油価格高騰の影響で肥料等資材価格の値上がりから利用が落ち込み、取扱高が減少しました。

この結果、生産資材全体の事業量では計画対比90.8%、前年対比92.8%の実績となりました。

### 【生活資材】

前年度から続く新型コロナウイルス感染拡大の影響から、飲食店等の休業・時短営業を余儀なくされ、米を中心とした食品関係の取扱高は減少しました。また、葬祭事業についても前年からの小規模施行（家族葬）が主流となり、計画を下回りました。この結果、生活資材全体の事業量では計画対比75.2%、前年対比98.4%の実績となりました。

### 【車輛・燃料】

農機具では経営継続補助金事業により、スピードスプレーヤ、乗用草刈機等は前年実績を上回りましたが、計画対比では90.3%と下回る結果となりました。

自動車ではフォークリフトの販売が堅調に推移したことから計画対比161.3%と計画を大幅に上回りました。

燃料では、昨年に引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止による外出自粛と原油高による単価高騰で燃料消費の落ち込みが影響しました。また、管内安値競争により数量が大幅に減少したため、計画対比89.4%の実績となりました。

LPガスでは、リフォーム時のIH化や一人暮らし高齢者の施設入居等による顧客数の減少と、毎月の使用量減少により計画対比92.2%の実績となりました。

この結果、車輛・燃料全体の事業量では計画対比91.2%、前年対比116.0%の実績となりました。

## ④ 販売事業

### 【りんご】

令和3年産りんごは、春先の凍霜害や一部地域での降雹被害、さらには夏場の干ばつの影響による小玉傾向から、最終在庫数量は233万6千箱で計画対比71.9%、前年対比71.2%と前年産を大きく下回りました。

## 事業の概況（2021年度）

販売については、早生種は他県産も凍霜害の影響により流通量が少なく青森県産への切替えが早まったことから順調な販売となりました。中生種のひろさきふじは小玉傾向であったものの、他県産中生種も早生種同様に下位等級品比率が高く総体量が少なかったことで順調な販売となりました。トキの輸出については、輸送遅延等の影響もあり前年対比73.4%となり、国内市場では小玉果と下位等級品の出回りが多かったことで厳しい販売となりました。主力のサンふじは例年通り11月中旬から販売を開始し、贈答向け対応に加え旧正月用の輸出対応も前倒しとなったことと、他県産の流通量が少なかったことから国内への出回りが少なく、上位等級品を中心に高値での販売となりました。年明け後は、12月末の青森県全体の産地在庫が前年対比77.0%の18万7千トンと過去10年で最も少ない数量となりました。年内から高値での販売が続いたため売場拡大が進まず、下位等級品や小玉果は荷動きが鈍い状況となりましたが、果実全体の流通量の少なさから、りんごは平年より高い価格帯での販売となりました。海外輸出については、船便の遅れや海上コンテナ不足等の影響もありましたが、旧正月以降も積極的に出荷を進め3月末実績で前年対比100.3%となりました。

総体では、全品種とも例年より糖度が高く食味が良好であったことや、りんごを含む果実全般の数量が少ないことなどにより順調な販売となりました。

### 【米】

令和3年産米の生育は、全般を通して高温で推移したため、分けつが促され順調に生育したものの、平年より降水量が少なく、出穂・開花期には水不足の影響から開花・受精の低下が散見されました。

この結果、申出数量95,320.5俵に対し、集荷数量は94,397俵となり、申出対比99.0%の実績となりました。

また、新型コロナウイルス感染症の影響による需給環境の悪化から、前年産と比べ概算金単価は大幅な下落となりました。このことから、「つがるロマン・まっしぐら」を対象に農協出荷1俵あたり、概算金追加払いで600円、出荷者支援対策で500円の助成金を支出しました。

### 【やさい・特産果樹・花き・花木】

今年産の消雪日は例年よりやや早く、春作業は好天に恵まれ、初期生育はおおむね順調に推移しました。

やさいについては、6月から7月の高温・干ばつにより果菜類では障害果や花落ちが散見されたものの、8月上旬にかけて生育は前進化となりました。8月中旬は気温の低い日が続き、生育は緩慢傾向となったものの、下旬以降は気温も上がり生育は回復傾向となりました。販売面では、各産地とも生育が進み数量が増加したことに加え、長引くコロナ禍の影響から業務需要の低迷などもあり、全般的に数量増の単価安で推移しました。

特産果樹については、一部園地で降雹被害が見られたものの、結実量は確保され果実肥大についても順調に推移しました。販売面では、他県産も降霜・降雹被害を受け、総体量が少なかったことから、販売価格は高値で推移しました。

園芸作物全体では出荷量は前年実績を上回ったものの、一物品目において単価安の影響もあったことから、販売金額は前年を下回る結果となりました。

販売金額実績は、10億8千万円の計画に対し10億4,700万円となり計画対比97.0%、前年対比99.5%となりました。

### ⑤ 直販事業

令和3年産りんごの販売は、ネットショップ、提携JA、主要取引先扱いのギフト企画において、大玉規格および高糖度りんごの販売を強化しました。主要となる上位等級品が高値で推移したものの、下位等級品の取扱量が大幅に減少したことにより、計画対比60.1%となりました。

独自米の販売は、生協をはじめ介護施設や宿泊施設等、年間を通して販売しましたが、3年産米の価格の低下およびコロナ禍の影響が大きく、取扱数量は減少し計画対比66.4%となりました。

オリジナルりんごジュースの販売においても、コロナ禍の影響が大きく、主要取引先をはじめ、葬儀施設や宿泊施設、飲食店や提携JA等への販売が減少し、計画対比65.5%となりました。

加工品では、地元食材のPRと地産地消の促進を目的に、地場産の「桃」「嶽きみ」「りんご」を使用し、弘前実業高校の生徒とパンの共同開発を行いました。

直売所では、各店舗において安全・安心な農産物提供のため、一般的な衛生管理に加え、国際基準である「HACCP(ハサップ)」の導入に取り組みました。

## 事業の概況（2021年度）

地域交流イベントとして「つがる弘前軽トラ市」を8月と10月の2回開催し、直売所のPRを行うとともに、地場産の農産物販売や市内飲食店および福祉施設の出店があり、コロナ禍ではありましたが、にぎやかに開催することができました。また、昨年につき、弘前市東部児童センターの一輪車クラブによる発表イベントを実施したところ、多くの来場者で賑わいました。

11・12月の「臨時りんご直売コーナー」では、贈答需要を取り込み、前年を上回る販売実績となりました。

この結果、直販事業全体では計画対比70.0%、前年対比92.4%の実績となりました。

### ⑥ 指導事業

#### 【営農指導】

りんごでは、生理に則した栽培を基本とし、品種・形態別重点項目に則したセミナーの開催により、高品質・安定生産に努めました。また、気象変動や気象災害に対応した栽培指導と、山選果指導を徹底するとともに、病害虫発生予察や、有線放送などの情報配信により、適期防除につながりました。

米穀では、収量確保と高品質米の安定生産を図るため、気象経過と生育状況に応じたセミナーの開催や、圃場巡回を実施したほか、気温観測器「おんどとり」を活用した適期刈り取り指導を徹底しました。また、フェロモントラップを利用した斑点米カメムシの発生予察を基に、航空防除による広域一斉防除に努めました。

園芸作物では、生育前半からの高温などの気象変動に対応した現地指導に加え、新規作付者や品目に応じた現地セミナーを地区横断的に開催しました。また、生産拡大へ向けた取り組みでは、新たに取り組める体制を目指し、一連の作業受託事業や新規就農者支援の実施によりピーマン、ミニトマト、にんにく、桃等の主要品目の作付拡大に努めました。

農政関連では、経営継続補助金の支援機関として781件の実績報告手続きを行い、青森県中小事業者等事業継続支援金の確認機関として886件の事業継続確認の受付を行いました。集落営農組織に対しては、令和4年からの水田活用の直接支払交付金の要件見直しを受け、集落営農組織連絡協議会で全体研修会を開催し、情報提供を行いました。

労働力確保対策では、無料職業紹介事業の募集広告を広報誌等に掲載したほか、初心者向けりんご研修会や観光事業者従業員対象の農作業体験会にて求職登録を募るなどした結果、合計22件のマッチングが成立しました。このほか、援農ボランティアの受入や、新規就農希望者に対しては随時相談に応じました。

経営支援策として、農業簿記記帳代行サービスは、利用者が9名増加の333名となり、うち6名の方が白色申告から青色申告へ申告方法を変更しました。また、延べ227名の利用者と6月・12月に個別面談を行い、決算に向けた情報共有を図りました。

#### 【生活指導】

組合員をはじめとする皆様の健康増進を図ることを目的として、行政や医療機関と連携を取りながら、人間ドックや血液検査、複合健診を実施しました。

管内7つの小学校と1つの児童館の子どもたちを対象に行った食農教育「農業塾」では、農業体験や食の体験を通じて、地域農業や食の大切さについて学んでもらいました。

コロナ禍のなか、感染対策を行い高齢者福祉活動「ぬくもりホーム」を年3回開催することができました。

女性部活動では、6支部を本部に統合するための組織再編に取り組みました。また、SDGs（持続可能な開発目標）に関連した活動として、食の支援と食品ロス削減のため、農協とともに、野菜や米、食品などの集荷を行い、フードバンク事業に協力しました。

#### 【組織・広報活動】

組合員向け広報誌「いぶき」では、弘前市の保健師協力のもと、くらしと健康に役立つ情報や、りんご・水稲・園芸作物に関する営農情報などをわかりやすい内容で提供しました。一般向け広報誌「ジャッフル」では、当JAオリジナル商品を使用した料理レシピや、SDGsの達成に貢献する事業活動についての情報を発信しました。

また、多くの方々に情報提供するため、インターネット交流サイト「フェイスブック」のほかに「インスタグラム」を新たに開設し、部会・組織活動やイベントなどの配信に努めました。

農業後継者研修は第7期がスタートし、地域農業を担う後継者の育成を目的に、営農・農業経営・一般教養等についての研修会を開催し、新規就農者や農業後継者の育成に努めました。

青年部では、「健康プロジェクト」の一環で行っている部員の健康診断と保健師による保健指導を継続して行い、農業の継続に向けた健康管理活動を積極的に行いました。

## 事業活動トピックス

日付	開催場所	内容
R3.07.05	四季彩館	七夕セール
R3.07.10	物流センター	夏の農機・自動車特選フェア
R3.07.13	和徳支店	年金無料相談会（弘前中央支店・和徳支店・藤崎支店）
R3.07.14	弘前西支店	年金無料相談会（弘前西支店・船沢支店）
R3.07.15	大鰐支店	年金無料相談会（大鰐支店・碓ヶ関支店）
R3.07.17	かあさんの店	夏の感謝セール
R3.08.11	各直売所	お盆セール（～13日）
R3.08.23	弘前北支店	年金無料相談会（弘前北支店・十腰内支店）
R3.08.24	岩木支店	年金無料相談会（岩木支店・目屋支店）
R3.08.25	弘前東支店	年金無料相談会（弘前東支店・薬師堂支店・弘前南支店・弘前支店）
R3.09.20	各直売所	秋彼岸セール（～23日）
R3.12.28	各直売所	お正月準備市（～30日）
R4.03.18	各直売所	春彼岸セール（～21日）

## 農業振興活動

日付	内容	日付	内容
R3.04.19	アスパラガスセミナーおよび目揃会	R3.07.26	にんにく目揃会
R3.06.10	ピーマン目揃会（～11日）	R3.08.27	りんご（早生種）の山選果基準説明会
R3.06.14	さくらんぼ部会目揃会および巡視会	R3.09.01	プルーン目揃会
R3.06.14	シャインマスカット勉強会	R3.09.15	ぶどう山選果基準説明会
R3.06.18	ミニトマト部会目揃会およびセミナー	R3.09.22	りんご（中生種前期）の山選果基準説明会
R3.06.21	トマト部会目揃会およびセミナー	R3.09.28	ラ・フランス山選果基準説明会
R3.06.21	ジュノハート適期収穫・目揃い研修会	R3.10.05	りんご（ジョコールド）の山選果基準説明会
R3.07.05	きゅうり目揃会（～6日）	R3.10.19	りんご（晩生種）の山選果基準説明会
R3.07.15	りんどうセミナーおよび目揃会	R4.01.17	中南地域シャインマスカット・もも生産販売情報交換会
R3.07.19	枝豆目揃会	R4.01.26	プルーン部会剪定会
R3.07.21	桃山選果基準説明会	R4.03.18	営農指導担当者りんご剪定講習会

## 地域貢献情報

- 農業体験「キッズめぐりスクール」の開催
- 小学校等を対象とした農業体験の実施
- 農業後継者育成研修会の実施
- 高齢者福祉活動「ぬくもりホーム」による各種イベントの実施
- 「高齢者等地域見守り活動」の実施
- 「つがる弘前軽トラ市」の実施
- 食農教育をすすめる子ども雑誌「ちゃぐりん」の贈呈

# リスク管理の状況

## ● リスク管理体制

### 1. リスク管理の方針

金融の自由化・国際化の進展やIT技術の発展に伴うシステム化や高度化、デリバティブ商品の多様化等により、金融機関のビジネスチャンスは拡大する一方で、金融機関の抱えるリスクは一段と複雑化・多様化してきております。また、金融ビッグバンの進展により金融の自由化が本格化し、リスクを最小化するだけでは収益が望めない状況となっております。

このような中で、組合員・利用者の皆様の多様化・高度化するニーズに的確にお応えしつつ、安心して当JAをご利用いただくためには、適切にリスクを管理し、より健全性の高い経営を確保し、信頼性を高めていくことが重要です。このため、当JAでは、発生率が高いと考えられる信用リスク、市場関連リスク、事務リスクを主として、管理体制の強化に努めております。

#### ① 信用リスク管理

貸出金や利息などの債権が回収不能となり被る損失である信用リスクは、貸出資産の健全性を維持するため専門部署であるリスク審査課を設置して審査体制の強化に努めております。

#### ② 市場リスク管理

資産（貸出金・有価証券）・負債（貯金）双方の金利変動に伴い被る損失である金利リスクは、余裕金運用会議（ALM委員会）において、運用、調達にかかるリスク管理に取り組み、健全な資産・負債のバランス向上に努めております。

#### ③ 事務リスク管理

事務上のミスや不正により被る損失である事務リスクは、内部牽制組織として監査部門を設置しており支店での事務指導や定期的な監査を実施しております。

また、事務の見直しや規程整備などを通してリスクの管理・強化に努めております。

#### ④ システムリスク管理

当JAにおける基幹業務勘定系システムは、経済管理系システム・信用システムを県農協電算センター、共済システムを全共連へ委託し運営しております。従いまして、これらに係るシステムのダウン又は誤作動等により被るリスクについては、委託先の指示に基づいた対策により対応しております。

### 2. 審査体制

融資の取扱いについては、各支店窓口での受付から最終決定者まで稟議手続により判断する体制を採っております。事前審査を十分に行うとともに担保の徴求、保全、回収については、常に本店と支店が連携をはかりながら問題債権の早期解消等について、対策を講じております。

また、リスク審査課では、審査体制の強化と窓口の審査能力向上に努めております。

### 3. ALM管理体制

資金調達面と運用面を総合的に管理するため、余裕金運用会議（ALM委員会）を定期的で開催し、金融情勢、金利、経済環境や資金動向の予測をもとに金利変動リスク等を回避するためのALM手法の充実とリスクヘッジ手法の活用により、財務の健全性維持と安定的収益確保に努めております。

## ● 法令遵守体制

### 1. コンプライアンス基本方針

利用者保護への社会的要請が高まっており、また最近の企業不祥事に対する社会の厳しい批判に鑑みれば組合員・利用者からの信頼を得るためには、法令等を遵守し、透明性の高い経営を行うことがますます重要になっております。

このため、コンプライアンス（法令等遵守）を経営の重要課題のひとつとして位置づけ、この徹底こそが不祥事を未然に防止し、ひいては組織の信頼性向上に繋がるとの観点にたち、コンプライアンスを重視した経営に取り組みます。

#### ◇ コンプライアンス運営態勢 ◇

コンプライアンス態勢全般にかかる検討・審議を行うため、代表理事組合長を委員長とするコンプライアンス委員会を設置するとともに、コンプライアンスの推進を行うため、各部署及び各支店にコンプライアンス担当者を設置しています。

基本姿勢及び遵守すべき事項を記載した手引書「コンプライアンス・マニュアル」を策定し、研修会を行い全役職員に徹底しています。

毎年度、コンプライアンス・プログラムを策定し、実効ある推進に努めるとともに、統括部署を設置し、その進捗管理を行っています。

# リスク管理の状況

## 金融ADR制度への対応

### 1. 苦情処理措置の内容

当JAでは、苦情処理措置として、業務運営体制・内部規則等を整備のうえ、その内容をホームページ・チラシ等で公表するとともに、JAバンク相談所やJA共済連とも連携し、迅速かつ適切な対応に努め、苦情等の解決を図ります。

当JAの信用事業に関する苦情相談窓口は、最寄りの各支店または  
信用部金融課(電話：0172-28-1121) 午前9時～午後4時(金融機関の休業日を除く)

共済事業に関する苦情相談窓口は、最寄りの各支店または  
共済部共済課(電話：0172-28-1120) 午前9時～午後4時  
(土日祝日および12月31日～1月3日を除く)

### 2. 紛争解決措置の内容

当JAでは、紛争解決措置として、次の外部機関を利用しています。

#### ①信用事業

- ・東京弁護士会紛争解決センター(電話：03-3581-0031) 午前9時30分～午後3時(土日祝日を除く)
- ・第一東京弁護士会仲裁センター(電話：03-3595-8588) 午前10時～午後4時(土日祝日を除く)
- ・第二東京弁護士会仲裁センター(電話：03-3581-2249) 午前9時30分～午後5時(土日祝日を除く)
- ・仙台弁護士会 紛争解決支援センター

1. の相談窓口または(一社)JAバンク相談所(電話：03-6837-1359)にお申し出ください。

#### ②共済事業

- ・(一社)日本共済協会 共済相談所  
(電話：03-5368-5757, <https://www.jcia.or.jp/advisory/index.html>)
  - ・(一財)自賠償保険・共済紛争処理機構(<http://www.jibai-adr.or.jp/>)
  - ・(公財)日弁連交通事故相談センター (<https://n-tacc.or.jp/>)
  - ・(公財)交通事故紛争処理センター (<https://www.jestad.or.jp/>)
  - ・日本弁護士連合会 弁護士費用保険ADR(<https://www.nichibenren.or.jp/activity/resolution/lac.htm>)
- 各機関の連絡先(住所・電話番号)につきましては、上記ホームページをご覧ください。1. の相談窓口またはJA共済相談受付センター(電話：0120-536-093)にお申し出ください。

## 内部監査体制

当JAでは、内部監査部門を被監査部門から独立して設置し、経営全般にわたる管理および各部門の業務の遂行状況を、内部管理態勢の適切性と有効性の観点から検証・評価し、改善事項の勧告などを通じて業務運営の適切性の維持・改善に努めています。

また、内部監査は、JAの本店・支店のすべてを対象とし、中期及び年度の内部監査計画に基づき実施しています。監査結果は、代表理事組合長及び監事に報告したのち被監査部門に通知され、定期的に被監査部門の改善取り組み状況をフォローアップしています。

また、監査結果の概要を定期的に理事会に報告することとしていますが、特に重要な事項については、直ちに理事会、代表理事組合長、監事に報告し、速やかに適切な措置を講じています。

# 自己資本の状況

## 自己資本比率の状況

当JAでは、多様化するリスクに対応するとともに、組合員や利用者のニーズに応えるため、財務基盤の強化を経営の重要課題として取り組んでいます。内部留保に努めるとともに、不良債権処理及び業務の効率化等に取り組んだ結果、2022年3月末における自己資本比率は、14.03%となりました。

## 経営の健全性の確保と自己資本の充実

当JAの自己資本は組合員の普通出資によっています。

○普通出資による資本調達額

項目	内容
発行主体	つがる弘前農業協同組合
資本調達手段の種類	普通出資
コア資本に係る基礎項目に 参入した額	4,415百万円(前年度4,513百万円)

当JAは、「自己資本比率算出要領」を制定し、適正なプロセスにより正確な自己資本比率を算出して当JAが抱える信用リスクやオペレーショナル・リスクの管理及びこれらのリスクに対応した十分な自己資本の維持を図るとともに内部留保の積み増しにより自己資本の充実にも努めています。

## 主な事業の内容

### ● 主な事業の内容

#### (信用事業)

信用事業は、貯金、貸出、為替などいわゆる銀行業務を行っています。

この信用事業は、JA・農林中金という2つの組織が有機的に結びつき、「JAバンク」として大きな力を発揮しています。

#### ◇ 貯金業務 ◇

組合員の方はもちろん、地域住民の皆様や事業主の皆様からの貯金をお預かりしています。普通貯金、定期貯金、定期積金、総合口座などの各種貯金を目的・期間・金額にあわせてご利用いただいています。

また、公共料金、都道府県税、市町村税、各種料金のお支払い、年金のお受け取り、給与振込等もご利用いただけます。

### 【主な貯金商品一覧】

商品名	特 色	預 入 期 間
普通貯金	いつでも、お預入れ・お引き出しが自由な商品です。また、各種公共料金等の自動支払、給与・年金のお受取り口座としての機能を備えると、毎日の暮らしの「お財布がわり」としてご利用いただけます。	出し入れ自由
貯蓄貯金	お手持ちの資金を有利に増やしながら、必要な時にいつでも引き出せる貯金です。残高に応じた金利が適用されますので有利さと便利さを兼ね備えた商品です。	出し入れ自由
通知貯金	まとまった資金の短期のご利用に便利な貯金です。	7日以上
総合口座	普通貯金の全ての機能を備えているのに加え、定期貯金をセットすることで、定期貯金合計額の90%（最高500万円）まで自由融資も可能となりご利用になれます。	出し入れ自由
定期積金	毎月または2ヵ月毎に一定額を積み立てすることにより、生活設計に合わせた無理のない資金づくりができます。	6ヵ月以上60ヵ月以下・120ヵ月
期日指定定期貯金	便利さを備えた定期貯金です。期間は1年間据え置き後最長3年で、1年ごとの複利計算となります。1ヵ月以上前の連絡により、自由に元金の全部または一部の満期日の指定が可能です。	1年以上3年までの間で、1ヵ月以上前の連絡により自由に満期日の指定ができます。
スーパー定期貯金	ボーナスや分散されている貯金などをまとめてお預け入れするのに便利な商品です。お預けいただく金額および期間に応じてよりおトクな金利となります。3年以上お預けの個人の場合、複利型がご利用できます。	1ヵ月以上10年までで満期日指定が可能です。
大口定期貯金	1,000万円以上のまとまった資金の運用に適した定期貯金です。法人および団体でのご利用はこちらでお預かりいたします。金利はお預けいただいた時点の金利情勢で決定され、満期まで変わりませんので安心です。	1ヵ月以上10年までで満期日指定が可能です。

## 主な事業の内容

### ◇ 貸出業務 ◇

農業専門金融機関として、農業の振興を図るための農業関連資金はもとより、組合員の皆様の生活を豊かにするための生活改善資金等を融資しています。

また、地域金融機関の役割として、地域の皆様の暮らしに必要な資金や、地方公共団体、農業関連産業等、農業以外の事業へも必要な資金を融資し、農業の振興はもとより、地域社会の発展のために貢献しています。さらに、個人向けローンも取り扱っております。

### 【主な貸出金商品一覧（農業関連向けご融資）】

資金の種類	お使いみちなど	ご融資金額	ご融資期間
アグリマイティー資金	農業生産、農産物の加工・流通・販売等に関する設備資金や運転資金にご利用いただけます。	必要額以内	原則 10年以内
農機ハウスローン	農機具のご購入、修理費用など、および他金融機関の農機具ローンのお借換え、パイプハウス等資材、建設費用などにご利用いただけます。	1,800万円以内	1年以上 10年以内
農業近代化資金	設備資金から運転資金まで様々な資金使途に利用できる長期・低金利の制度資金です。	個人：1,800万円以内 法人・集落営農組織等： 2億円以内	原則 15年以内
制度融資	農業経営改善促進資金など、各種制度資金をお取り扱いしております。		
受託貸付	日本政策金融公庫（旧農林漁業金融公庫や就農資金）の各種資金をお取り扱いしております。		

### 【主な貸出金商品一覧（個人向けご融資）】

資金の種類	お使いみちなど	ご融資金額	ご融資期間
住宅ローン	住宅の購入資金（土地のみの購入も含む）・新築・増改築・中古住宅の購入および既にお借入の住宅資金の借換えなどにご利用いただけます。	10万円以上 1億円以内	3年以上 40年以内
リフォームローン	既存住宅の増改築・改装・補修等、およびその他住宅に付帯する施設などの住宅関連設備資金としてご利用いただけます。	10万円以上 1,500万円以内	1年以上 20年以内
農泊ローン	所有している既存住宅を農泊事業に使用するための増改築・改装・補修や農泊施設の増改築・改装・補修および関連設備等の設置などにご利用いただけます。	10万円以上 5,000万円以内	1年以上 30年以内
多目的・フリーローン	使いみちはご自由です。 ただし、負債整理資金などは除きます。	1万円以上 500万円以内	6ヵ月以上 10年以内
マイカーローン	自動車・バイク購入（中古を含む。）点検・修理・車検、購入に付帯する諸費用、共済掛金に必要な資金としてご利用いただけます。	1万円以上 1,000万円以内	6ヵ月以上 10年以内
教育ローン	就学（予定）子弟の入学金・授業料・学費および下宿代など教育に関する資金としてご利用いただけます。	1万円以上 1,000万円以内	最長 16年10ヵ月の 範囲内
カードローン	限度額の範囲内で自由にお使いいただけます。	極度額 500万円以内 (10万円単位)	原則として、 審査のうえ 自動更新

## 主な事業の内容

### ◇ 為替業務 ◇

全国のJ A・信連・農林中金の店舗をはじめ、全国の銀行や信用金庫などの各店舗と為替網で結び、当J Aの窓口を通して全国どこの金融機関でも振込や送金、手形・小切手等の取立が安全で確実かつ迅速にできます。

### ◇ その他の業務およびサービス ◇

当J Aでは、コンピュータ・オンラインシステムを利用して、各種自動受取・支払や事業主の皆様のための給与振込サービス、自動集金サービスなどを取り扱っています。

また、国債（新窓販国債、個人向け国債）の窓口販売の取り扱い、国債の保護預かり、多くの金融機関でご利用いただけるキャッシュサービスなどいろいろ取り揃えております。

さらにJ Aカード会員になりますと、カードショッピング・キャッシングなど多機能にわたってのサービスをご利用いただけます。

### 【各種サービスの内容】

種 類	サービス内容や特徴
内国為替サービス	全国どこの金融機関でも、お振込、ご送金、お取立を行っております。
J Aキャッシュサービス	キャッシュカードがあれば、全国のJ A・信連・農林中金・銀行・信用金庫・信用組合・労働金庫・ゆうちょ銀行・セブン銀行・コンビニ（ローソン、セブンイレブン、イーネット）ATM（現金自動預払機）で現金のお引出しと残高照会がご利用いただけます。また、全国のJ A・信連・農林中金・ゆうちょ銀行・セブン銀行、コンビニ（ローソン、セブンイレブン、イーネット）では現金のお預入れもご利用いただけます。さらに県内J AのATMではお引出し、お預入れとも通帳によるお取扱が可能となっております。
給与振込サービス	給与・ボーナスがおお客様のご指定いただいた貯金口座に自動的に振り込まれます。余分な現金を持ち歩かずにすみ、振り込まれたご資金は必要な時にお引き出しいただけます。
各種自動受取サービス	各種年金、配当金などがお客様の口座に自動的に振り込まれます。その都度お受取りに出向く手間や、期日忘れや紛失なども防げ安心です。
各種自動支払サービス	電気・電話・水道料・NHK放送受信料等の公共料金のほか、高校授業料、各種クレジット代金など普通貯金（総合口座）から自動的にお支払い致しますので、支払い忘れや支払いの煩わしさがなくなります。
クレジットカードサービス（J Aカード）	J Aカードはライフシーンに合わせて選べ、ICチップを搭載したより安全なクレジットカードです。VISA・NICOS・Masterマークのあるお店ならお買い物、ご旅行、お食事などお客様のサインや暗証番号ひとつでご利用いただけます。24時間年中無休のロードアシスタンスサービス付カードやETCカードもお取扱しています。J Aならではの特典や各種サービスを満載しており、三菱UFJニコス(株)との提携により三菱UFJニコス(株)の提供する各種サービスも受けられます。
口座振替サービス	収納企業(委託者)に代わり、口座振替により集金業務を行っております。
ATM振込サービス	ATMを使用して全国どこの金融機関でも振り込みできるサービスです。振込依頼書に記入する手間も省け、手数料も窓口扱いより割安となっております大変便利です。
ATM定期預入サービス	ATMを利用して総合口座定期貯金は1件目から、通帳式定期貯金および積立式定期貯金は2件目からの預入ができるサービスです。
J Aバンクアプリ J Aネットバンクサービス	全国どこからでもインターネットに接続可能なパソコン・携帯電話等を使い曜日に関わらずいつでも残高照会、入出金明細照会、振込・振替予約、定期貯金、ローン繰り上げ返済などができるサービスです。窓口へ出向く手間も省け、手数料も窓口扱いより割安となっております大変便利です。

# 主な事業の内容

## ◎ATM利用手数料

【当JAのキャッシュカードまたは通帳をご利用する場合】

金融機関名	取引区分	平日			土曜日			日曜・祝日・年末
		8:00～ 8:45	8:46～ 18:00	18:01～ 21:00	8:00～ 9:00	9:01～ 14:00	14:01～ 21:00	8:00～ 21:00
J A (県内・県外)、信連ATM	入出金	無料			無料			無料
その他金融機関の提携ATM	J F マリンバンク	無料			無料			無料
	青森銀行	無料		110円	110円			110円
	三菱東京UFJ銀行	110円	無料	110円	110円			110円
	ゆうちょ銀行	220円			220円			220円
	セブン銀行	220円	220円	220円	220円	220円	220円	220円
	イーネット・ローソンATM	220円	220円	220円	220円	220円	220円	220円
	上記以外の提携金融機関	出金	110円		220円	220円		220円
キャッシング提携会社	キャッシング	無料		110円	110円		110円	

※ 青森銀行は、「あすなろネット」表示のATMが対象となります。

※ ゆうちょ銀行、セブン銀行、イーネット・ローソンATMは、当JAのキャッシュカードにより、それぞれのATMで取引した場合に申し受ける手数料です。

※ セブン銀行発行のキャッシュカードでJAのATMはご利用できません。

※ キャッシング提携会社のうち、ご利用いただけるカードは、三井住友、JCB、UC、三菱UFJニコスのカードです。

注1. 上記金額には消費税を含みます。

注2. 祝日には振替休日・国民の休日を含みます。また、1月2日・3日および祝日が土曜日と重なる場合については、日曜日・祝日のご利用手数料となります。

注3. JFマリンバンクについては、1月1日～3日、5月3日～5日が終日お取扱できません。

注4. 稼働時間はATMにより異なります。また、ATM稼働時間であってもJAバンクのキャッシュカードによるお取引ができない場合およびご利用の金融機関により手数料が異なる場合があります。詳しくはお近くのJAまたはご利用ATMの掲示等でご確認ください。

注5. イーネットATMはファミリーマート・スリーエフ・ポプラ等のコンビニエンスストアに設置されています。

注6. ローソンに設置されているローソンATM以外のATMはサービス内容が異なる場合があります。詳しくはご利用ATMの掲示等でご確認ください。

注7. コンビニエンスストア等の一部の店舗において、ATMが設置されていない場合、金融機関が直接ATMを設置している場合、他ATM運営会社のATMが設置されている場合があります。「イーネットATMマーク」「ローソンATMマーク」をご確認のうえ、ご利用ください。

【その他金融機関のキャッシュカードで、当JAのATMをご利用する場合】

金融機関名	取引区分	平日			土曜日			日曜・祝日	年末
		8:00～ 8:45	8:46～ 18:00	18:01～ 21:00	8:00～ 9:00	9:01～ 14:00	14:01～ 21:00	8:00～ 21:00	8:00～ 21:00
J A (県内・県外)、 信連キャッシュカード	入出金	無料			無料			無料	無料
その他金融機関の キャッシュカード	J F マリンバンク	無料			無料			無料	無料
	青森銀行	無料		110円	110円			110円	110円
	三菱東京UFJ銀行	110円	無料	110円	110円			110円	110円
	ゆうちょ銀行	220円	110円	220円	220円	110円	220円	220円	曜日より変動
	上記以外の提携金融機関	出金	110円		220円	220円		220円	220円
	キャッシング提携会社	キャッシング	無料		110円	110円		110円	110円

注1. 上記金額には消費税を含みます。

注2. 祝日には振替休日・国民の休日を含みます。また、1月2日・3日および祝日が土曜日と重なる場合については、日曜日・祝日のご利用手数料となります。

注3. JFマリンバンクについては、1月1日～3日、5月3日～5日が終日お取扱できません。

注4. セブン銀行のキャッシュカードでJAのATMはご利用できません。

注5. 稼働時間はATMにより異なります。詳しくはJA窓口またはご利用ATMの掲示等でご確認ください。

# 主な事業の内容

## ◇ 信用手数料一覧 ◇

### 【振込手数料（1件当り）】

お取扱区分		振込金額	手数料		
			窓口	A T M	ネット バンキング
当 J A 本支店あて		3万円未満	330円	無料	無料
		3万円以上	550円		
県内 J A あて	電信扱い	3万円未満	330円	110円	110円
		3万円以上	550円	330円	220円
	文書扱い	3万円未満	330円	—	—
		3万円以上	550円	—	—
系統県外 金融機関あて	電信扱い	3万円未満	440円	110円	110円
		3万円以上	660円	330円	220円
	文書扱い	3万円未満	600円	—	—
		3万円以上	770円	—	—
その他 金融機関あて	電信扱い	3万円未満	600円	380円	270円
		3万円以上	770円	550円	440円
	文書扱い	3万円未満	600円	—	—
		3万円以上	770円	—	—

### 【送金手数料（1件当り）】

お取扱区分	手数料
当 J A 本支店あて	無 料
当 J A 以外の金融機関あて	660円

### 【代金取立手数料（1件当り）】

お取扱区分		手数料
県内 J A あて	普通扱い	440円
	至急扱い	
系統県外 金融機関あて	普通扱い	660円
	至急扱い	880円
その他 金融機関あて	普通扱い	660円
	至急扱い	880円

### 【両替手数料】

お取扱区分	手数料
1枚 ～ 50枚	無 料
51枚 ～ 100枚	220円
101枚 ～ 500枚	440円
501枚 ～ 1,000枚	550円
1,001枚 ～ 2,000枚	770円
2,001枚 ～ 3,000枚	1,100円
3,001枚 ～ 4,000枚	1,430円
4,001枚 ～ 5,000枚	1,760円
5,001枚 ～ 6,000枚	2,200円
以降、1000枚毎に550円追加	

### 【その他諸手数料（1件当り）】

お取扱区分	手数料
送金・振込組戻料	660円
不渡手形返却料	
取立手形組戻料	

### 【入出金手数料】

お取扱区分	手数料
1枚 ～ 300枚	無 料
301枚 ～ 500枚	220円
501枚 ～ 1,000枚	330円
1,001枚 ～ 2,000枚	660円
2,001枚 ～ 3,000枚	990円
以降、1000枚毎に330円追加	

### 【発行手数料】

お取扱区分	手数料
J A カード（一体型）（1枚）	660円
通帳（1冊）	1,100円
証書、契約の証（1通）	
I C キャッシュカード（1枚）	
キャッシュカード（1枚）	440円
残高証明書等の各種証明書（1通）	

### 【貸付金関係手数料】

契約事務手数料		手数料
住宅ローン新規契約	借入契約1件につき	22,000円
繰上返済		手数料
住宅ローン全額繰上返済	繰上申込毎1件につき	11,000円
住宅ローン一部繰上返済		5,500円
住宅ローン金利特約手数料		手数料
住宅ローン金利特約再設定	特約再設定毎1件につき	5,500円
保証申込		手数料
住宅ローン保証料（青森県農業信用基金協会）	借入契約1件につき	20,000円
住宅ローン保証料（協同住宅ローン株）		33,000円
保証繰上返済		手数料
住宅ローン全額繰上返済（協同住宅ローン株）	繰上申込毎1件につき	11,000円
住宅ローン一部繰上返済（協同住宅ローン株）		5,500円

## 主な事業の内容

### (共済事業)

J A共済は、J Aが行う地域密着型の総合事業の一環として、組合員・利用者の皆様の生命・財産を守る「ひと・いえ・くるま」の各種共済による生活総合保障を展開しています。

### 【主な共済商品の内容】

種 類	共済期間	サービス内容や特徴
終 身 共 済	一 生 涯	万一のときはもちろん、ニーズにあわせた特約により病気やケガなどへの備えも自由に設計ができる確かな生涯保障プランです。
医 療 共 済	一 生 涯 一定期間	病気やケガによる入院・手術を一定期間または一生涯にわたって手厚く保障します。特約でがん入院の保障を手厚くしたり、特約で一定期間の万一保障を確保することもできます。
が ん 共 済	一 生 涯	がんと闘うための安心を一生涯にわたって手厚く保障します。すべてのがんのほか、脳腫瘍も対象としています。
介 護 共 済	一 生 涯	公的介護保険制度と連動して幅広い要介護状態（要介護2～5）等、介護の不安に一生涯備えられる保障です。
生 活 障 害 共 済	50歳～80歳満了	身体障害者手帳制度（公的制度）に連動したわかりやすい保障で、病気やケガにより身体の障害が残るときに不足する生活費や治療費に継続的に備えるための共済です。
特定重度疾病共済	0歳～80歳満了	三大疾病（がん・急性心筋梗塞・脳卒中）に加えて「心・血管疾患」や「脳血管疾患」「その他の生活習慣病」まで幅広く保障し、継続的な治療による様々な経済負担に備えるための共済です。
認 知 症 共 済	一 生 涯	認知症を発症した際の経済的負担に備えるとともに、認知症の前段階である軽度認知障害まで幅広く保障する共済です。
定 期 生 命 共 済	期間満了 5～15年 歳満期 50～99歳	ライフプランに合わせて必要な期間を選べ、手頃な掛金で万一のときに備えられる共済です。
年 金 共 済	一 生 涯 一定期間	老後の生活資金準備のためのプランです。医師の診査は無く、簡単な手続きでご加入できます。また、最低保証利率が設定されているので安心です。
養 老 生 命 共 済	年満期 5～30年 歳満期 50～88歳	万一のときの保障と、将来の資金づくりを両立させたプランです。特約により病気やケガなども幅広く保障します。
こ ど も 共 済	0～22歳	お子様の入学資金や結婚・独立資金の準備に最適なプランです。共済契約者（親）が万一のときは、満期まで毎年養育年金を受け取りになれるプランもあります。
建 物 更 生 共 済	5～30年	火災はもちろん、地震や台風などの自然災害も幅広く保障します。また、満期共済金は、建物の新築・増改築や家財の買替資金としてご活用いただけます。
自 動 車 共 済		相手方への対人・対物賠償をはじめ、ご自身・ご家族などの傷害保障、車両保障など、万一の自動車事故を幅広く保障します。
自 賠 責 共 済		法律ですべての自動車に加入が義務付けられている、人身事故の被害者保護のための保障です。
傷 害 共 済		日常のさまざまな災害による万一のときやケガを保障します。
火 災 共 済		住まいの火災損害を保障します。

### (指導事業)

おいしく安全性の高い農産物（りんご・お米・やさいなど）を栽培していただくために、アドバイスや相談を受けております。また、皆様の暮らしと健康を守るため、各種健康診断や、高齢者福祉活動を行っています。

## 主な事業の内容

### (購買事業)

農業に必要な肥料・農薬・飼料などの生産資材や、暮らしに必要な食品・日用品などの生活資材を供給しています。また、農機具・自動車の販売、給油スタンドも行っています。

### (販売事業)

出荷者の皆様が栽培した農産物(りんご・お米・やさいなど)や、畜産物の集荷・販売を行っています。

### (直販・利用事業)

会員の皆様が栽培したやさい・果実を、4店舗の直売所にて販売しています。また、育苗施設では優良・均質なやさい苗を供給しています。

## ● 系統セーフティネット (貯金者保護の取り組み)

当JAの貯金については、JAバンク独自の制度である「破綻未然防止システム」と公的制度である「貯金保険制度(農水産業協同組合貯金保険制度)」との2重のセーフティネットで守られています。

### ◇ 「JAバンクシステム」の仕組み ◇

組合員・利用者から一層信頼され利用される信用事業を確立するために、「再編強化法(農林中央金庫及び特定農林水産業協同組合等による信用事業の再編及び強化に関する法律)」に則り、JAバンク会員(JA・信連・農林中金)総意のもと「JAバンク基本方針」に基づき、JA・信連・農林中金が一体的に取り組む仕組みを「JAバンクシステム」といいます。

「JAバンクシステム」は、JAバンクの信頼性を確保する「破綻未然防止システム」と、スケールメリットときめ細かい顧客接点を生かした金融サービスの提供の充実・強化を目指す「一体的事業運営」の2つの柱で成り立っています。

### ◇ 「破綻未然防止システム」の機能 ◇

「破綻未然防止システム」は、JAバンクの健全性を確保し、JA等の経営破綻を未然に防止するためのJAバンク独自の制度です。具体的には、(1) 個々のJA等の経営状況についてチェック(モニタリング)を行い、問題点を早期に発見、(2) 経営破綻に至らないよう、早め早めに経営改善等を実施、(3) 全国のJAバンクが拠出した「JAバンク支援基金※」等を活用し、個々のJAの経営健全性維持のために必要な資本注入などの支援を行います。

※2021年3月末における残高は1,652億円となっています。

### ◇ 「一体的な事業運営」の実施 ◇

良質で高度な金融サービスを提供するため、JAバンクとして商品開発力・提案力の強化、共同運営システムの利用、全国統一のJAバンクブランドの確立等の一体的な事業運営の取り組みをしています。

### ◇ 貯金保険制度 ◇

貯金保険制度とは、農水産業協同組合が貯金などの払い戻しができなくなった場合などに、貯金者を保護し、また資金決済の確保を図ることによって、信用秩序の維持に資することを目的とする制度で、銀行、信用金庫、信用組合、労働金庫などが加入する「預金保険制度」と同様な制度です。

なお、この制度を運営する貯金保険機構(農水産業協同組合貯金保険機構)の責任準備金残高は、2021年3月末現在で4,522億円となっています。